

# 研究実施のお知らせ

2020年12月15日 ver.1.0

## 研究課題名

食道がん術前集中リハビリテーションの効果の検証—身体機能および在院日数についての後方視的研究—

## 研究の対象となる方

2014年1月から2020年12月の間に島根大学医学部附属病院消化器外科で食道がんの手術を受けられ、リハビリテーション部においてリハビリテーション治療を受けた方を対象とします。

## 研究の目的・意義

食道がんの手術は消化器外科の手術の中で最も侵襲の大きい手術の1つであり、肺炎などの呼吸器合併症の発症率が高いことが知られています。その対策として、術前リハビリテーションが推奨されていますが、がんのリハビリテーションガイドラインの中では、その推奨度は高くありません。本院では食道がん術後の呼吸器合併症を予防し早期退院を目指す目的で、2018年9月から術前1週間の入院リハビリテーションを実施しています。術前集中リハビリテーションが身体機能に及ぼす影響を明らかにするとともに、術前集中リハビリテーション導入前と比較して入院期間を短縮できたか否かを検証していく必要があります。

食道がん患者に対する術前入院リハビリテーションの術後呼吸器合併症予防効果、入院期間短縮への有効性を明らかにすることができれば、食道がん患者に対して術前集中リハビリテーションを標準的治療として普及させることが可能となり、術後早期回復の一助となることが期待できます。

## 研究の方法

この研究では島根大学医学部附属病院の電子カルテ内に記録されている、患者さん自身の年齢や身長・体重といった個人データと、呼吸機能・筋力・歩行能力などの身体機能、エックス線画像、採血結果といった医療データを用います。診療で用いた検査結果のみを使用しますので、研究のために新たに検査を追加することはありません。

研究対象の患者さんの情報は島根大学医学部リハビリテーション医学講座内の PC

に保管され厳重に管理されます。また、データは匿名化して収集するため個人が特定されることはありません。

### 研究の期間

2021年1月28日～2024年3月31日

### 研究組織

この研究は島根大学医学部リハビリテーション医学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部リハビリテーション医学講座 馬庭壯吉

### 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2021年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

### 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部リハビリテーション医学講座／附属病院リハビリテーション科  
馬庭壯吉

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2457 FAX 0853-20-2305